

関東・首都圏ブロックのアドバイザー活性化について

首都圏ブロックのうち、東京都の新しいブロック新体制の構築と今後の展開

首都圏の AD 認定数 2, 221人(41%) 神奈川 624 人 埼玉 448 人 千葉 338 人

認定者東京 811 人の内 AD として活動を期待する人材は 433 名

東京東 56 名 東京西 73 名 東京南 102 名 東京北 56 名 東京多摩 146 名

東京を 5 ブロックにして、何を進めるのか

- ・ ブロック内の相互協議会の開催案内や参加募集の情報交換を進める
- ・ 養成講座を各ブロック及び各協議会開催に向けて、協力しあいながら講師養成を含め推進する

情報ネットワークを構築し、各協議会の情報共有化を推進し参加活動を活性化する

- ・ 組織の出来ている協議会は相互のネットワークで行事参加を案内する
- ・ 未組織のアドバイザーに情報を提供し、参加を推進するとともに協議会設立の人材となるように情報を提供しアドバイザー活動に参加を進める
- ・ 人材ネットワークを作り、養成講座の講師登録など健康生きがい研修等利用する

健康生きがいづくりコーディネーターとして、アドバイザーが活動する

- ・ 100 歳大学等を行政機関と協力し、実現に向け取り組む、特別区単位が望ましい
- ・ 認知症予防やフレール予防をスポーツ推進員などと協力し協働事業を展開する

健康生きがい財団及び AD 拡大推進会議の協力のもと組織化及び AD ネットワークを構築し高齢化に伴う地域や行政と協働し、生きがいある活動を展開する

健康生きがい東京都連絡協議会 略称「健生都連」

東京ブロック 永森 博